

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 鳥取県岩美町立岩美北小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒681-0003
鳥取県岩美郡岩美町浦富 711-54

E-mail : iwamin-e@mailk.torikyo.ed.jp
 Website : http://www.torikyo.ed.jp/iwamin-e/

児童生徒数：男子 112 名 女子 112 名 合計 224 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ジオパーク）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

【本校のESDの特徴】

本校では次のような児童の育成をめざしている。

- ① 子どもたちが、コミュニケーション能力を高め、お互いを思い合う言葉や行動を身につけ、心からつながりあう。
- ② 地域とのつながりを深め、ふるさと岩美町への誇りと愛着を深める。
- ③ 自分から主体的に学ぶ意欲を高める。

この子ども像をめざすために、より効果的に学べる生活科や総合的な学習の時間を研究の中心の教科として位置づけ、「仲間や地域とつながる児童の育成」を研究主題として設定し、研究を進めている。

本校ではこの研究において、児童が主体的に課題に向かって追究し、学びへの意欲の高まりや、友達同士で協同的に取り組む場面を多く設定している。そのことによって、話し合いや協力する必然性が生じさせ、その過程でより深いつながりをつくっていくことを期待している。さらに、学習対象が地域の素材であるので、自らが地域とのふれあいを開拓していくことで、地域への誇りや愛着を持ち、そこから世界へつながっていけるようになることを期待している。

これらの教育活動はESDの理念そのものであると考え、実践を行ってきた。

【各学年の実践例】

(6年 総合的な学習の時間「岩美の昔 100人に聞きました」)

3校が統合し創立20周年の今年、3校の歴史を地元の方のインタビューや書籍などによる調査を進め、当時の地域の特色を生かした学校教育や子どもたちへ期待する思いと今につながる熱い思いを知りまとめたことを、記念式典や学習発表会で発信した。地域の一員として積極的に地域を大切にしようとする心情や態度を育てた。

(5年 総合的な学習の時間「生物の誕生と生きるための知恵」)

山陰海岸学習館の専門員と共に、日本海の海洋生物の「子孫の残し方」「産卵の仕方」「身の守り方」などを調べ、生き物を大切にするために環境保全など自分たちはどう関わっていったらよいかを考えた。

(5年 総合的な学習の時間「オリジナルジオグルメをつくろう」)

岩美町の特産物(いわみ八宝)を調べ、岩美町のよさをさらに多くの人に知ってもらうためにいわみ八宝を使った新しいメニューを協力して開発し多くの方に食べて頂き、おすすめメニューを提案した。

(4年 総合的な学習の時間「岩美の宝 発見(海編)」)

鳥取県立博物館付属山陰海岸学習館専門員や地元ダイバーと共に、浦富海岸の地質・地学・生物学的な価値を学び、自分たちの住む町の素晴らしさを再認識し、自分たちが調べてみたい地元のよさを調べ、わかったことを学習発表会などで発信していった。また、宿泊体験では、海での活動だけではなく、防災学習として段ボールハウスを作りそこで宿泊したり、ハイゼックス米試食やけがの手当てをしたりなど災害に遭遇したときの心構えや実際の活動を研修、体験した。

(3年 総合的な学習の時間「わたしたちのまち 岩美町」)

鳥取県立博物館付属山陰海岸学習館専門員と共に浦富海岸でシュノーケリングや生き物探しを行い、海の豊かさを体験した。また、文化面では地域の特色である麒麟の獅子頭を使った麒麟獅子舞体験を行った。体験を行うことで、子どもたちは地元の生き物や自然文化の素晴らしさを再認識することになり、自分たちの住む場所を大切にしようとする心情と態度を育てた。

(2年 生活科「花や野菜を育てよう」)

地域の方から教えてもらいながら、野菜や花を育てる活動を通して、地域や食物に親し
みを持ち、積極的に関わることが出来た。

(1年 生活科 「みんななかよし」)

身近な自然や生き物、人に関心を持ち、遊びや飼育、保育園児や地域の方々との交流を
通して、親しみを持ち、大切にできるようにした。

【特別活動、その他】

- ・津波を想定した避難訓練の実施（防災）
- ・4年生海難救助訓練参加（防災）
- ・クラブ活動での和太鼓文化伝承（伝統文化）
- ・浦富海岸での砂浜マラソン・砂の像づくり、遠泳（環境）
- ・栄養教諭による年間を通じた食育指導（食育）
- ・5年生と外国人留学生との交流（国際理解）
- ・全校児童とPTAとで手話の学習（平和・人権）
- ・3年生と盲導犬ユーザーとの交流（平和・人権）
- ・5、6年生 人権週間の取り組み 足で書を行う書彩家 高橋さんとの交流（平和・人権）

【今年度の成果と課題】

今年度も本校の特色である山陰海岸ジオパークに関わる自然・文化・経済などを教材に
して、地域の人々の協力を得ながら様々な観点で学習を深めていくことができた。よって
子どもたちに地域を愛する心と行動力を育てることができた。今後は、ユネスコスクール
としてグローバルなネットワークを活用し世界中の学校と交流することなど、地球規模の
諸問題に対処できる行動力を育成するための取り組みを模索したい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（)